



2/13 いけ花で和みの空間を



嵯峨御流いけ花東予司所弓山社中の弓山康さんに、教育長から感謝状が贈られました。

同団体は、ボランティアで20年以上にわたり、文化振興会館にいけ花を飾ってきました。弓山さんは「毎月3回、弟子と交替でいけ直しています。あっという間の20年間でした。初めてこのような表彰をもらい、すごくうれしいです」と話し、関教育長は「20年という長い間ありがとうございます。これからもお願いします」とお礼を述べました。

2/14 2/24 子どもたちのつくった作品がずらり



あかがねミュージアムにて「第38回新居浜こども美術展」が開催されました。

この展覧会には、市内の小中学生が作ったペットボトルや粘土、木材を使った立体的な作品をはじめ、絵、習字、硬筆など1000点余りが展示。日頃の楽しい学校生活や学んでいることがよく表現されており、来場者の中には自分の作品を家族に紹介する子どもたちも見られました。子どもたちの成長を見る良い機会にたくさんの人々が来場し、楽しんでいました。

(取材：えひめ SOHOLABO)

2/16 駅前イルミネーションが終了



新居浜駅前人の広場で実施していたイルミネーションのファイナルイベントが開催されました。

まずは、南沢津保育園の園児によるバレンタインコンサートが行われ、イルミネーションが点灯。その後、あかがねアート映像祭として、人の広場のドローン映像や東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京2019」などを投影。寒い中ではありましたが、物販ブースや、コーヒー、白いもの焼き芋などのマルシェもあり、参加者は思い思いにイベントを楽しみました。

2/24 滝の宮公園を桜でいっぱい



滝の宮公園の桜再生のため、公園内遊歩道沿いに桜の苗を植樹しました。昨年に続いて2回目の実施となったこのイベントには、ボランティア21組約50人が参加し、晴天の中、85本のヤマザクラの苗を植樹しました。

家族で参加した小学生は、「斜面の階段を上って、土や水を運ぶ作業はとてもしんどかったけど、今日植えた桜が、何年後かの春には満開になるのを思うと、とても楽しみです」と話していました。



2/26 三浦保環境賞愛媛県奨励賞を受賞



第15回三浦保環境賞愛媛県奨励賞を受賞した「プロジェクト地球っ子ひろば」が受賞報告のため、市役所を訪れました。

この賞は県内で環境保護活動を行っている、特に優れた活動を行った個人・団体に贈られるもので、当団体は、山林や田畑で体験教室を開催し、自然の大切さを訴える活動が評価されました。

代表の射手建雄さんはパワーポイントや動画で活動紹介を行い、受賞の喜びを語りました。市長は「昔と違い、今の子どもたちが自然体験をするのは本当に貴重なこと。これからも取り組みを続けていってください」と激励しました。

2/27 一戦必勝で頑張ってきます



第12回春季全日本小学生男子ソフトボール大会（3/24～26 高知県）に出場する大生院ブルータイガーススポーツ少年団の選手らが、市役所を訪れました。

明石慎之助主将は「全国大会では一戦必勝で頑張ってきます」と意気込みを話すと、市長は「全国大会出場おめでとうございます。皆さんの意気込みを聞いたところ、元気で頼もしい限り。新居浜市のソフトボールが盛んなところを全国に行っても思いっきり発揮してほしい。頑張ってください」と激励しました。

3/4 まずは初戦突破を目指します



文部科学大臣杯第10回記念全日本少年春季軟式野球大会（3/22～25 静岡県）に出場する中萩中学校野球部が、市役所を訪れました。中学校野球部として全国大会に出場するのは、新居浜市初となります。

松本元輝主将は「県代表としての自覚を持ち、支えてくれる全ての人に感謝し、まずは初戦突破を目指して頑張りたい」と力強く大会への抱負を述べました。市長は「全国大会で活躍をして、新居浜の名を全国に広めてもらえたら。普段の練習の成果を思いっきり発揮してください。応援しています」と激励しました。

3/4 2年連続受賞となりました



日本郵便㈱が主催する「平成30年度はがきでコミュニケーション全国発表大会」において、中学年の部でブロック最優秀賞を受賞した松本琉希さん（角野小3年）が、市役所で受賞報告を行いました。

この大会は、今年度で9年目となる「手紙の書き方体験授業」に参加した小学生を対象に、実際にやりとりした心温まる手紙を募集したもので、今年度は2,285点の応募があったそうです。松本さんは「賞をもらってとても嬉しかった」と喜びを話しました。松本さんは昨年度も総務大臣賞を受賞しています。